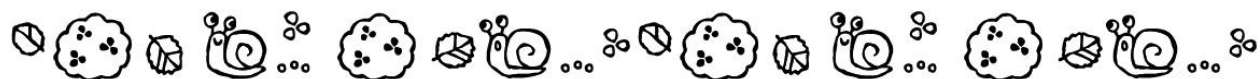


なかよしタイム

2021. 6. 8

誰もが暮らしやすい社会を作るためには二つの心が大切だそうです。一つは、社会にはいろいろな人がいる、ということ「知る力」。二つめは、これを使う時に不便な人はいないかな？どうしたらみんなが使いやすいかな？と「想像する力」です。今回のなかよしタイムでは幼児クラスの子どもたちが、自分たちの身近にある『ユニバーサルデザイン』について考えてみました。



「ユニバーサル」と言うと子どもたちは「ジャパン?」「US?」と楽しい場所を想像したようです。「いろんな人にとって使いやすいように考えられている物のことをユニバーサルデザインって言うんだよ」と伝え、画像をみました。「あっ、消防署!」「警察」と子どもたち。地域の場所なので知っている子が多かったです。最初に交番の階段、スロープ、手すりなどをみながら話をしました。

「ドアに矢印が書いてある」「ドアが自動で開いたらいいと思う」など、よく観察した答えや、使いやすいという視点から子どもなりに考えた意見が出て、みんなで話をすることができました。



「階段に手すりが付いているとみんなが安心だね」「坂道（スロープ）になっているとベビーカーや車いすでも通りやすいね」



自動車や自転車が行き交う道路には危険がいっぱいですね。「音響式押しボタン」や「黄色い点字ブロック」がある交差点は散歩時によく歩いているのですぐにどの場所かわかり、「黄色いところはポコポコしてる」と教えてくれました。目を閉じてから「信号が青になったと思ったら手を挙げてね」と言い動画を再生すると、ほとんどの子が正解でした。「なんでわかったの?」と聞くと、「だって音楽なるもん!」「見てなくても聞いてたらわかる」と、体験して感じたことを教えてくれました。

顔の表情や身振り手振りなどの「手のことば」で会話をするを『手話』と言います、と伝えると「しってる～」と言う子もいました。手話は主に聴覚障がいの人が使うコミュニケーション法ですが、「バイバイって手を振ったりもするね」「みんなもつかってる～」という意見も出ました。

最後に身近な物を使って、どこが工夫されているかクイズをしました。牛乳パックとジュース、ビールとジュースと缶チューハイ、シャンプーとコンディショナー、ペットボトル、点字付きの絵本などを実際に触ってみて違いを体験しました。他にもいろいろな物が工夫されているので、お家でも一緒に探してみてくださいね。

シャンプーはフタと側面にギザギザがあります。



ペットボトルは「指スポット」があり、持ちやすいように工夫されています。牛乳パックは見分けるためのくぼみがあります。



「なんかこの絵本ポコポコしてるなあ」

「フタも模様あるで!」



「ここがポコポコしてからお酒やと思う」「ジュースになんか字が書いてあった!」と教えてくれました。



きりん組は部屋で話を聞きました。みんな触ってみたいと興味津々です。「まっすぐ」「ポコってなってる」と違いに気が付いていましたよ。

社会には、子どもから高齢者までさまざまな年齢の人、障がいのある人、病気の人、外国の人などがいます。この多様な人たちが社会の中で取り残されることがなく、みんなが安心して暮らせるようにと生まれたのが、ユニバーサルデザインやバリアフリーです。保育所の年齢の子どもたちに伝えるにはまだまだ難しい部分もありますが、少し注意をはらうだけで、周りにはいろいろな人がいることに気付くことができます。誰もがなるべく不便を感じないようにするには、一人ひとりが自分以外の人のことを考え、思いやる気持ちをもつことが大切ですね。